

(平成20年10月分)

部 門	市況の概要
野 菜	10月期の野菜の入荷状況は、多くの品目で天候不順による生育遅れや品質低下が見られたほか、秋冬産地への移行がスムーズでなく、不安定な入荷状況となったが、全体の入荷量としては前年並みとなった。 価格は、土物類は単価高での推移となったが、生育期の天候不順により品質の低下した品目が多く、全体としては前年同期を7%下回った。 品目別には、長大根、西洋にんじん、キャベツ、ほうれんそう、まつたけが入荷減の単価安、トマト、ピーマンは入荷増の単価安となり、はくさいは入荷前年並みの単価安、レタスは入荷増の単価前年並みとなった。また、きゅうりは入荷減の単価高、なすは入荷減の単価前年並み、ばれいしょは入荷前年並みの単価高、玉葱は入荷増の単価高であった。 根菜類は、入荷が5%減少し、価格は4%安となった。 葉菜類は、入荷前年並みで、価格は10%安となった。 果菜類は、入荷が5%増加し、価格は6%安となった。 土物類は、入荷が4%増加し、価格も3%高となった。
果 実	10月期の果実の入荷状況は、全般に豊作傾向で、一部品目では前進出荷の影響から入荷減となったものの、全体の入荷量としては、前年同期を8%上回った。 価格は、入荷増に加え、原油高の影響から嗜好品である果実の需要が依然低く、前年同期を19%下回った。 品目別には、みかん、津軽りんご、ふじりんご、刀根・平核柿、栗が入荷増の単価安となり、巨峰は入荷減の単価安、アールスメロンは入荷増の単価前年並みであった。 柑橘類は、入荷が4%増加し、価格は21%安となった。 りんご類は、入荷が4%増加し、価格は14%安となった。 かき類は、入荷が21%増加し、価格は22%安となった。 ぶどう類は、入荷が3%減少し、価格は11%安となった。 メロン類は、入荷が8%増加し、価格は3%安となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	北海道を中心に，石川県，青森県，福井県，岩手県からの入荷。 主力の北海道が前進出荷によって入荷が減少したため，全体の入荷量は前年同期を３％下回った。 価格は，気温が高く消費が伸びず，前年同期を５％下回った。
西洋人参	北海道を中心に，青森県からの入荷。 北海道では生育期の高温干ばつ等により作柄が悪く，全体で入荷量は前年同期を９％下回った。 価格は，生育期の高温干ばつに加え，８月下旬の集中豪雨から品質が低下しており，入荷減ながら前年同期を８％下回った。
【葉菜類】	
はくさい	長野県を中心に，茨城県，北海道，滋賀県からの入荷。 各産地ともに９月下旬の降雨等により作柄が悪かったものの，中央集散機能が発揮され，入荷量は前年並みとなった。 価格は，気温が高く消費が低迷していたことから，前年同期を５％下回った。
キャベツ	群馬県，長野県，茨城県を中心に，愛知県，滋賀県からの入荷。 各産地ともに降雨等の影響で生育が遅れ，下旬に入荷が集中したものの，全体の入荷量は前年同期を６％下回った。 価格は，入荷減ながら需要の低迷が続いており，前年同期を１０％下回った。
ほうれんそう	岐阜県を中心に，京都府，滋賀県，北海道からの入荷。 作柄は平年並みであったが，前年の入荷が多かったことから，入荷量は前年同期を７％下回った。 価格は，入荷が集中した下旬に単価安となり，全体としては前年同期を１５％下回った。
レタス	長野県，茨城県を中心に，兵庫県，長崎県，徳島県からの入荷。 各産地ともに上旬の降雨等で生育が遅れていたが，中央市場の集散機能が発揮されたことに加え，下旬には茨城県産の入荷が本格化したことで，全体で入荷量は前年同期を１２％上回った。 価格は，入荷増であったものの，前年が単価安であったことから前年並みとなった。

【果菜類】 きゅうり	滋賀県，北海道を中心に，福島県，宮崎県，福岡県からの入荷。 各産地ともに9月下旬の低温によって生育遅れが見られ，入荷量は前年同期を13%下回った。 価格は，入荷減から単価高となり，前年同月を6%上回った。
なす	京都府，高知県を中心に，徳島県，岡山県，岐阜県からの入荷。 各産地ともに台風などの大きな気象被害はなかったものの，岡山県については定植期の高温障害によって大幅な入荷減となり，全体の入荷量は前年同期を3%下回った。 価格は，入荷減ながら入荷状況は安定しており，前年並みとなった。
トマト	岐阜県，北海道，茨城県を中心に，滋賀県，熊本県からの入荷。 各産地ともに台風などの大きな気象被害はなく，順調な入荷状況となった。また，秋冬トマトの出荷も順調で，入荷量は前年同期を18%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を13%下回った。
ピーマン	茨城県を中心に，大分県，宮崎県からの入荷。 各産地とも潤沢な入荷状況であり，入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は，入荷増に加えて荷動きが悪く，前年同期を10%下回った。
【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)	北海道を中心に，青森県からの入荷。 主力の北海道については小玉傾向ではあったが，入荷量は前年並みとなった。 価格は，小玉傾向での入荷ながら，品質は良好で，前年が単価安であったことから前年同期を17%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に，兵庫県，京都府からの入荷。 主力の北海道については作柄良く，全体での入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は，北海道産，兵庫県産ともに品質良好で需要も高く，前年同期を11%上回った。
【その他野菜】 まつたけ	中国を中心に，モロッコ，カナダ，アメリカからの入荷。 国産品の入荷量は前年を大きく上回ったものの，主力の輸入品が減少していることから，入荷量は前年同期を11%下回った。 価格は，中国産中心の入荷の中，良品が少なく，前年同期を8%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
みかん	和歌山県，福岡県を中心に，長崎県，佐賀県，高知県からの入荷。 8月下旬以降の降雨によって果実肥大は良く，本年は裏年に当るものの入荷量は前年同期を4％上回った。 価格は，果実肥大は良いものの，糖度が低く，前年同期を21％下回った。
津軽 （サン含む）	青森県を中心に，岩手県からの入荷。 一部地域では雹害に見舞われたものの，全般には豊作で潤沢な入荷となり，入荷量は前年同期を13％上回った。 価格は，入荷増に加え，雹害果もあったことから，前年同期を21％下回った。
ふじ （サン含む）	青森県を中心に，長野県，山形県，秋田県からの入荷。 津軽同様に豊作であり，入荷量は前年同期を11％上回った。 価格は，入荷増から前年同期を5％下回った。
刀根・平核柿	和歌山県を中心に，奈良県，福井県からの入荷。 8月下旬以降の好天に恵まれ果実肥大，着色ともに良好であり，入荷量は前年同期を11％上回った。 価格は，入荷増によって前年同期を19％下回った。
巨峰	長野県を中心に，山梨県からの入荷。 各産地とも前進出荷によって切り上がりが早く，入荷量は前年同期を8％下回った。 価格は，入荷減ながら下位等級の比率が高く，前年同期を13％下回った。
アールスメロン	茨城県，静岡県を中心に，熊本県，愛知県からの入荷。 静岡県については天候不良により小玉傾向での入荷となったが，他の産地は順調な入荷状況となり，入荷量は前年同期を3％上回った。 価格は，静岡県産が小玉傾向であったものの，全体としては前年並みとなった。
くり	愛媛県を中心に，京都府，山口県，島根県，熊本県からの入荷。 各産地とも天候に恵まれて豊作傾向で，入荷量は前年同期を36％上回った。 価格は，入荷増により前年同期を42％下回った。